

**社内起業家育成制度第4号案件が、事業エリアを大幅に拡大
渋谷の街まるごとメディア「ROADCAST」が新宿区、中央区、港区での展開を開始
～新規エリアの第1弾として、「Wall Art MUSEUM STORE」を実施～**

東急株式会社

当社が展開する街まるごとメディア「ROADCAST(ロードキャスト、以下:ROADCAST)」は、2020年12月10日、渋谷エリアから、新宿区、中央区、港区エリアに事業エリアを拡大します。

2018年7月からサービスを開始したROADCASTは、落書きなどに悩む、路地裏に多く点在する住居や店舗などの未活用壁面を当社が一括して借用して同時展開することで街をまるごとメディア化し、プロモーションやアート作品展示などを行うことで、新たな文化の発信、街の活性化につなげる、街の賑わいと企業の効果的な広告宣伝を両立する仕組みです。現在、渋谷・原宿エリアの取り扱い壁面は解約率2%ほどと壁面所有者から好評で、140カ所を超えています。スマートフォンと連動させた街の回遊イベントや、ストリートアート展など、これまでに40件の企画を展開してきました。

拡大する新規エリアの第1弾企画では、福祉を起点に新たな文化をつくりだすアートライフブランド「HERALBONY」を展開する株式会社ヘラルボニー(代表取締役社長:松田 崇弥 以下、ヘラルボニー)と共同で街中に点在するウォールアートからアートプロダクトを購入できるミュージアムショップ「Wall Art MUSEUM STORE」(以下、本企画)を実施します。

本企画は、当社のオープンイノベーションプログラム「東急アクセラレートプログラム」をきっかけに発足し、ヘラルボニーが行っていたアートプロジェクト「全日本仮囲いミュージアム」を、ROADCASTの壁面を活用して規模を拡大して実施することで、持続的な福祉分野の支援に向けて協業します。作品に付随するQRコードを読み込むと専用のWebページからヘラルボニーと障害のあるアーティストとのコラボレーションによるアートプロダクトを購入でき、プロダクトの売上の一部は、福祉施設およびアーティストに還元され、福祉分野の経済的な活性化につなげます。

また本企画では、ROADCASTが賃借する壁面に落書き、剥がれ防止を目的として設置している下地シートに代替することで、今後もプロモーションなどの利用時以外の期間は常にウォールアートが展開されている状態とし、街の活性化に寄与します。12月10日の開始時は、渋谷区、新宿区、中央区、港区の4区内で計約40カ所の壁面で福祉アート展示を行い、今後も順次展示箇所を増やしていきます。

今後、ROADCASTでは、2021年度内に、渋谷区、新宿区、中央区、港区で約500カ所へ壁面拡大を目指し、4つの街ごとに最適な街メディアを展開することで、街の活性化、壁面の価値向上に寄与します。

本企画の詳細は別紙の通りです。



▲Wall Art MUSEUM STOREの展示作品(一部)

(別紙)

1. 本企画の概要

ROADCASTが賃借する壁面に落書き、剥がれ防止を目的として設置している下地シートを福祉アートにすることで、プロモーションなどの利用時以外の期間は常にウォールアートが展開されている状態とし、街の活性化を目指します。作品に付随するQRコードを読み込むと専用のWebページからヘラルボニーとアーティストとのコラボレーションによるアートプロダクトを購入でき、アーティストおよびアーティストの所属する福祉施設を支援できる企画です。

また、本企画にあわせて東急百貨店本店の1階特設会場(住所:東京都渋谷区道玄坂2丁目24-1)にてヘラルボニーのアートプロダクトを展示・販売するポップアップショップも2021年1月16日(土)までの期間、展開します。

https://www.tokyu-dept.co.jp/christmas_invitation/kikangentei/

(1)実施時期

2020年12月10日(木)から約1年間を(予定) ※一部、期間限定で展示する箇所あり。

(2)実施場所

渋谷区、新宿区、中央区、港区の約40カ所。 マイマップ URL

(3)作品数・参加アーティスト

アーティスト 10名 19作品

(参加アーティスト)

Sanae Sasaki, Michiyo Yaegashi, Kiyoshi Yaegashi, Satoru Kobayashi, Koichi Tsuchiya, Minami Takahashi, Fujiko Tomisawa, Midori Kudo, Yu Takada, Daichi Sakamoto

(4)展示作品イメージ(一例)

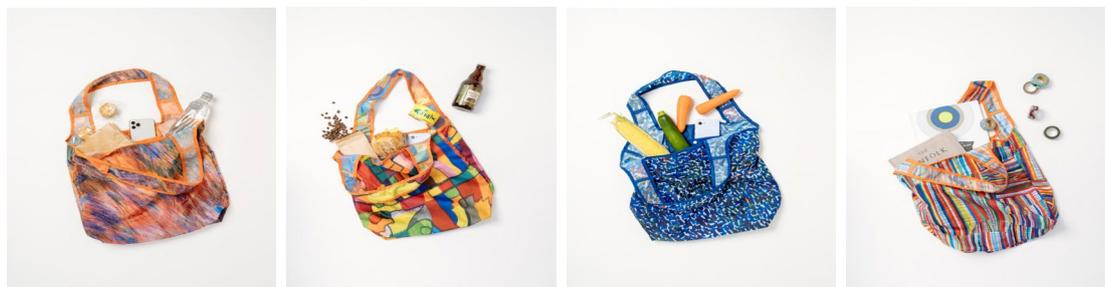


Satoru Kobayashi「埴生の宿」



Kiyoshi Yaegashi「無題(家)」

(5)アートプロダクト(一例)



(6)アートプロダクト購入ステップ

作品名の横にあるQRコードを読み込むと、専用のサイトに繋がり、掲出されている作品を落とし込んだアートプロダクトを購入することができます。



Yu Takada 「迷路」

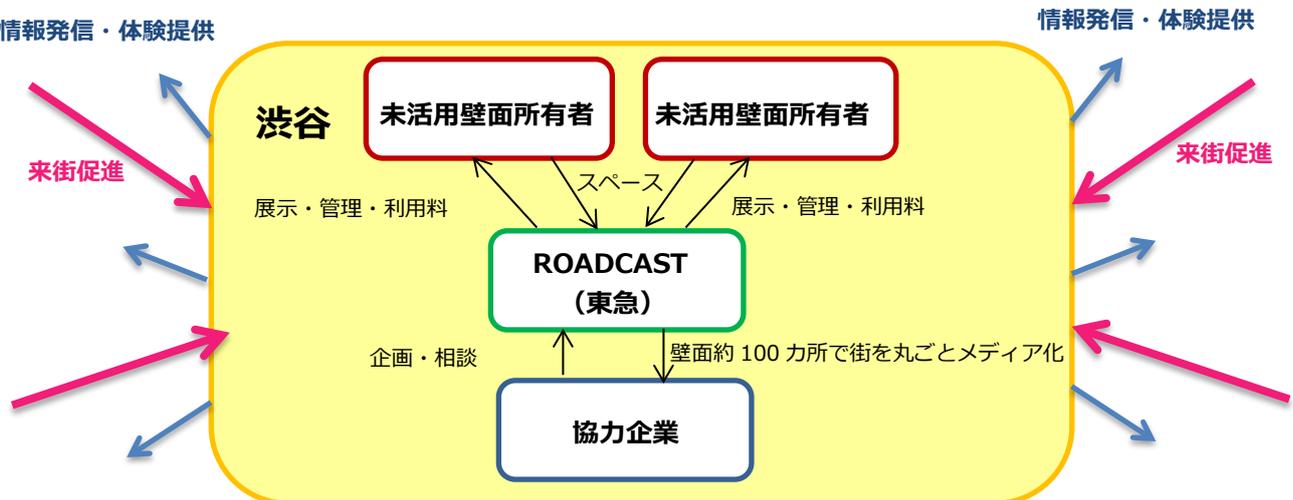


2. ROADCASTの概要

ROADCASTは、東急が2015年4月に創設した「社内起業家育成制度」の第4号案件で、落書きなどに悩む、渋谷エリアを中心に点在する住居や店舗などの未活用壁面を一括借用して、プロモーションやアート作品展示を同時展開することで街をまるごとメディア化し、新たな文化の発信、街の活性化を目指す事業です。<https://roadcast109.com/>
<ROADCAST事業の特徴>

- 当社が一括して壁を管理することで、壁面所有者の落書き被害などの悩み解消
- 単純広告でなく、渋谷の街にある100カ所の壁面の同時展開により、渋谷のビルボード1面程度の料金で、大きなインパクトを生み出す(※2020年12月から渋谷区以外のエリアでも事業開始)
- 裏路地という目にする情報が少ない場所での掲出のため、通常のメディアよりも深いコミュニケーションが可能
- 裏路地での新たなエンタテインメントの提供で、街の回遊性を高める

<ROADCAST事業イメージ図>



(参考) 株式会社ヘラルボニーについて

「異彩を、放て。」をミッションに掲げ、福祉を起点に新たな文化を創ることを目指す企画会社。知的障害のある人が描くアート作品をプロダクトに落とし込み、新しい価値の提案を目指すブランド「HERALBONY」の運営や、建築現場の仮囲いに知的障害のあるアーティストのアート作品を転用する「全日本仮囲いアートミュージアム」など、福祉を軸とした社会実験に取り組む。日本を変える30歳未満の30人「Forbes 30 UNDER 30 JAPAN」受賞

社号 | 株式会社ヘラルボニー / HERALBONY Co.,Ltd.

設立 | 2018年7月24日

所在地 | 岩手県盛岡市開運橋通2-38 @HOMEDELUXビル4F HERALBONY

役員 | 代表取締役社長 松田崇弥、代表取締役副社長 松田文登

HP | <http://www.heraltbony.jp> (コーポレートサイト)

<https://www.heraltbony.com> (ブランドサイト)

(参考) 東急アクセラレートプログラムについて

2015年から東急株式会社が主催するスタートアップ企業との事業共創を図るオープンイノベーションプログラムです。東急グループのリソースを用いて、スタートアップ企業が持つサービス・プロダクトの仮説検証を行い、渋谷を東急線沿線の生活利便性を高める新たな価値創出の場にするだけでなく、スタートアップ企業の持続的成長を実現するグローバルなイノベーション拠点にすることを目指しています。 <https://tokyu-ap.com/>